

「公共ブロードバンド移動通信システムの技術的条件」  
についての情報通信審議会への諮問

(平成21年4月28日総務省報道発表)

総務省は、4月28日、情報通信審議会（会長：大歳 卓麻 日本アイ・ビー・エム株式会社社長）に対し、「公共ブロードバンド移動通信システムの技術的条件」について諮問しました。

### 1 諮問の背景

現在、災害等の現場において使用される警察、消防・救急等の公共通信システムは音声が中心ですが、被災地等の正確な情報の共有のため、機動的かつ確実に映像伝送を行う手段が求められています。

こうした中、地上テレビジョン放送のデジタル化により空き周波数となるVHF帯の一部については、情報通信審議会一部答申※を踏まえ、安全・安心な社会の実現のためにブロードバンド通信が可能な自営通信を導入するため、既に周波数割当計画の変更が行われているところです。

以上を踏まえ、地上テレビジョン放送デジタル化完了後速やかに新たなシステム導入を図るため、公共ブロードバンド移動通信システムの技術的条件について諮問を行うものです。

※ 平成19年6月27日情報通信審議会諮問第2022号「電波の有効利用のための技術的条件」のうち「VHF/UHF帯における電波の有効利用のための技術的条件」に対する一部答申

### 2 諮問内容

公共ブロードバンド移動通信システムの技術的条件  
システムの概要については下記の別紙<sup>1</sup>をご覧ください。

別紙1：[http://www.soumu.go.jp/main\\_content/000019285.pdf](http://www.soumu.go.jp/main_content/000019285.pdf)

### 3 検討体制

報通信審議会情報通信技術分科会における審議に資するため、情報通信技術分科会の下に新たに設置された「公共無線システム委員会」（主査：森川博之 東京大学先端科学技術センター教授）において検討される予定です。なお、公共無線システム委員会の構成員については下記の別紙<sup>2</sup>をご覧ください。

別紙2：[http://www.soumu.go.jp/main\\_content/000019317.pdf](http://www.soumu.go.jp/main_content/000019317.pdf)

#### 4 今後の予定

平成21年12月頃に答申を受け、その後、関係規定の整備を行う予定です。

なお、諮問内容の詳細、検討体制、連絡先等の詳細は下記の総務省報道資料をご覧ください。

[http://www.soumu.go.jp/menu\\_news/s-news/02kiban12\\_000002.html](http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/02kiban12_000002.html)

### 「ICT標準開発プロジェクト」に係る技術課題の提案募集

(平成21年4月22日総務省報道発表)

総務省では、ICT分野の中で特に国際標準化を強力に推進することが必要な技術課題について、技術的試験や相互接続検証等を実施することにより、我が国のICT産業の国際競争力強化を図る「ICT標準開発プロジェクト」を平成21年度から実施する予定です。

今般、「ICT標準開発プロジェクト」を実施するに当たり、我が国の国際競争力を強化する上で国際標準化を加速すべき重要度の高い技術課題と当該課題に対する取り組みについて、平成21年4月22日（水）から5月22日（金）までの間、広く提案を募集します。

#### 1 趣旨

総務省では平成21年度から「ICT標準開発プロジェクト」を実施することとしています。

本公募は、総務省が「ICT標準開発プロジェクト」を実施するに当たり、我が国の国際競争力を強化する上で国際標準化を加速すべき重要度の高い技術課題と当該課題に対する取り組み（以下、「重要テーマ」という。）について、広く提案を募集するものです。

本公募において提案された重要テーマについては、総務省でプロジェクトを実施するに当たっての参考情報として取扱います。

#### 2 募集の内容

##### (1) 想定する提案者

ICT分野の国際標準提案の実施を具体的に想定している企業、法人、大学、又はそれらからなるコンソーシアム等とします。

(2) 提案募集要領

別紙 ([http://www.soumu.go.jp/main\\_content/000018518.pdf](http://www.soumu.go.jp/main_content/000018518.pdf)) のとおり

(3) 提出フォーマット

別添 ([http://www.soumu.go.jp/main\\_content/000018367.doc](http://www.soumu.go.jp/main_content/000018367.doc)) のとおり。

(4) 提出先

〒100-8926 東京都千代田区霞が関2-1-2 中央合同庁舎2号館9階

総務省 情報通信国際戦略局 通信規格課 標準推進係

電話：03-5253-5763 電子メール：standard\_atmark\_ml.soumu.go.jp

(スパムメール防止のため、「\_atmark\_」を@に直して入力して下さい。)

3 募集期限

平成21年5月22日(金) 17時(必着)

4 今後の予定

総務省は、ICT分野の専門家・有識者等による評価結果を踏まえ、平成21年度に実施する重要テーマを決定します。重要テーマの決定を踏まえて、各プロジェクトの実施主体を決定するために、別途一般競争入札を行います。

なお、連絡先等の詳細は下記の総務省報道資料をご覧ください。

[http://www.soumu.go.jp/menu\\_news/s-news/02tsushin04\\_000004.html](http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/02tsushin04_000004.html)

「ITS無線システムの高度化に関する研究会」報告書(案)に対する意見募集

(平成21年4月24日総務省報道発表)

総務省は、「ITS無線システムの高度化に関する研究会」(座長：川嶋 弘尚 慶應義塾大学大学院理工学研究科教授)において取りまとめられた報告書(案)について、平成21年4月24日(金)から平成21年5月25日(月)までの間、意見を募集いたします。

1 経緯

総務省では、我が国の重要な社会基盤の1つとなっているITS(高度道路交通システム)について、更なる高度化を図るため、近年、「車車間通信」等を用いたインフラ協調による安全運転支援システムの実現に向けた各種実証実験等の取組が行われていることを踏まえ、「車車間通信」等の無線システムに求められる要求条件等を明確化することを目的として、平成20年10月29日(水)から「ITS無線システムの高度化に関する研究会」を開催してきたところです(本研究会の構成員は別紙1、同開催状況は別紙2、のとおり。)\*。

今般、本研究会における検討結果を踏まえ、報告書(案)(別紙3)\*が取りまとめられましたので、これを公表するとともに、本報告書(案)についての意見を募集いたします。

\*それぞれのURLは下記の通り

別紙1研究会の構成員：[http://www.soumu.go.jp/main\\_content/000019510.pdf](http://www.soumu.go.jp/main_content/000019510.pdf)別

紙2研究会の開催状況：[http://www.soumu.go.jp/main\\_content/000019511.pdf](http://www.soumu.go.jp/main_content/000019511.pdf)別

紙3報告書(案)：[http://www.soumu.go.jp/main\\_content/000019512.pdf](http://www.soumu.go.jp/main_content/000019512.pdf)

## 2 資料

上記の別紙3報告書(案)をご覧ください。

## 3 意見募集の期限

平成21年5月25日(月)午後5時(必着)

(郵送の場合も、平成21年5月25日(月)午後5時必着とします。)

## 4 意見募集要領

意見募集要領 (別紙4) \*\*をご覧ください。

なお、意見募集対象は、準備が整い次第、総務省ホームペー

ジ(<http://www.soumu.go.jp>) の「報道資料」欄及び電子政府の総合窓口(e-

Gov) (<http://www.e-gov.go.jp>) の「パブリックコメント」欄に掲載するとと

ともに、連絡先窓口において配布いたします。

\*\* 別紙4意見募集要領：[http://www.soumu.go.jp/main\\_content/000019513.pdf](http://www.soumu.go.jp/main_content/000019513.pdf)

## 5 今後の予定

皆様から頂いたご意見を踏まえ、6月上旬を目処に本研究会第5回会合を開催し、研究会報告書を取りまとめる予定です。

なお、連絡先等の詳細は下記URLの総務省報道資料をご覧ください。

[http://www.soumu.go.jp/menu\\_news/s-news/12211.html](http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/12211.html)

## 編集後記

今年の連休は天候が比較的良かったためか、景気の低迷と新型インフルエンザ騒ぎにも関わらず、ますますの人出があったようですね。そんな中、私は元気も資金も無いので、近所の散歩とネット放浪という地味な日々を過ごしていましたが、それでも、ささやかな収穫がありました。

大昔に気になっていた歌の素性が偶然判ったのです。何気なくクリックして流

れ出てきた歌が、すぐには気がつかなかったのですが、懐かしいその歌  
(フォーレ：「夢の後に」)でした。

当時、中学の吹奏楽部に入り音楽が面白くなってきた私は、偶然耳にした切ないメロディに強烈な印象を受け、曲名と作曲家を突き止めようと思ったのです。ところがその後何度か聞く機会があったにも関わらず、転調と節回しの微妙なメロディをついに覚えきる事ができませんでした。もともと音痴で、その上他の歌と入り混じってしまって鼻歌レベルの再現も出来ず、せっかく曲名探しを手伝ってくれた音楽教師をも混乱させるばかり、そのまま迷宮入りになっていたのです。

そんな事も今まですっかり忘れていましたが、50年近く経ってようやくメロディと曲名が符合し、やり残しの用事を一つ片付けたようで清々しました。その曲を繰り返し聴いていると子供の頃の楽しかった日々が蘇ってくるようで、しばし感慨に耽ってしまいました。

いやあ、暇さえあればこんなに楽しめるインターネットって、本当に良いですね。

(tss)

[ページの先頭に戻る ▲](#)